

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
大川広域行政組合	介護サービス事業	指定介護老人福祉施設	さざんか荘

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

当施設の運営基盤であるさぬき市及び東かがわ市の第9期介護保険事業計画(2024年～2026年)では、当該事業の対象者となる要介護認定者数が2030年頃にピークを迎えるものと推計されている。このことから、需要はまだまだ伸びると考えられ、当該事業の基本は利用者数の確保であるが、当面は当事業を継続しても問題なく運営していけると考えられる。

一方、過去の経緯として平成22年度から平成23年度にかけて民営化・民間譲渡について具体的に検討したところであるが、職員の身分保障等の問題もあり、実施には至っていない。

また、平成8年度に建築した現在の施設は大規模改修が必要な時期になりつつあり、多額の投資的経費が見込まれることから、今後の利用状況等を踏まえ、当該事業の在り方について長期的に検討していく。